



デスクフォン制御の設定

- [前提条件, 1 ページ](#)
- [デスクフォン制御ワークフローの設定, 1 ページ](#)
- [デスクフォン デバイスの作成, 2 ページ](#)
- [CTI 用のデバイスの有効化, 3 ページ](#)
- [デスクフォン ビデオの設定, 4 ページ](#)
- [デスクトップ アプリケーション用デバイスへの電話番号の追加, 6 ページ](#)
- [ビデオ レート アダプテーションの有効化, 7 ページ](#)

前提条件

Cisco CTIManager サービスが Cisco Unified Communications Manager クラスタで実行されている必要があります。

デスクフォン制御ワークフローの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	デスクフォン デバイスの作成, (2 ページ)	デスクフォン デバイスを作成します。
ステップ 2	CTI 用のデバイスの有効化, (3 ページ)	Cisco Jabber デスクトップ クライアントがユーザのデスクフォンを制御することを可能にします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	デスクフォン ビデオの設定, (4 ページ)	ユーザがクライアントを介してコンピュータ上のデスクフォンデバイスに転送されたビデオを受信することを可能にします。
ステップ 4	デスクトップアプリケーション用デバイスへの電話番号の追加, (6 ページ)	デバイスにディレクトリ番号を割り当てます。
ステップ 5	ビデオ レート アダプテーションの有効化, (7 ページ)	クライアントはビデオ レート アダプテーションを利用し、最適なビデオ品質をネゴシエートします。

デスクフォン デバイスの作成

ユーザは、自分のコンピュータのデスクフォンを操作して音声コールを発信できます。

はじめる前に

ソフトフォン デバイスの作成

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2** [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] の順に選択します。
[電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 3** [新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 4** [電話のタイプ (Phone Type)] ドロップダウンリストから適切なデバイスを選択し、続いて [次へ (Next)] を選択します。
[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 5** [デバイス情報 (Device Information)] セクションで次の手順を実行します。
- [説明 (Description)] フィールドに分かりやすい説明を入力します。
クライアントにより、デバイスの説明がユーザに表示されます。ユーザが同じモデルのデバイスを複数所有している場合、説明によって複数のデバイスを区別できます。
 - [CTI からデバイスを制御可能 (Allow Control of Device from CTI)] を選択します。
[CTI からデバイスを制御可能 (Allow Control of Device from CTI)] を選択しない場合は、ユーザはデスクフォンを制御できません。
- ステップ 6** [オーナーのユーザ ID (Owner User ID)] フィールドを適切なユーザに設定します。

重要 Cisco Unified Communications Manager バージョン 9.x では、クライアントは [オーナーのユーザ ID (Owner User ID)] フィールドを使用してユーザのサービス プロファイルを取得します。そのため、それぞれのユーザがデバイスを所有し、[オーナーのユーザ ID (Owner User ID)] フィールドがユーザと関連付けられている必要があります。

ユーザとデバイスを関連付けて [オーナーのユーザ ID (Owner User ID)] フィールドを適切なユーザに設定しないと、クライアントはユーザに適用するサービス プロファイルを取得できません。

ステップ 7 次の手順を実行し、デスクフォンのビデオ機能を有効にします。

- a) [プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration Layout)] セクションを探します。
- b) [ビデオ機能 (Video Capabilities)] ドロップダウン リストから [有効 (Enabled)] を選択します。

(注) 可能であれば、デバイス設定でデスクフォンのビデオ機能を有効にします。ただし、一部の電話機モデルにはデバイス設定レベルでの [ビデオ機能 (Video Capabilities)] ドロップダウン リストは含まれていません。この場合、[共通の電話プロファイルの設定 (Common Phone Profile Configuration)] ウィンドウを開き、次に [ビデオ コール (Video Calling)] ドロップダウン リストから [有効 (Enabled)] を選択する必要があります。

デスクフォンのビデオの詳細については、「デスクフォン ビデオの設定」を参照してください。

ステップ 8 必要に応じて、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウのその他の設定も指定します。
[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの設定の詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。

ステップ 9 [保存 (Save)] を選択します。
デバイスが正常に追加されたとのメッセージが表示されます。[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで [割り当て情報 (Association Information)] セクションが利用可能になります。

次の作業

デバイスに電話番号を追加し、設定を適用します。

CTI 用のデバイスの有効化

Cisco Jabber デスクトップ クライアントでユーザのデスクフォンを制御できるようにするには、ユーザのデバイスを作成するときに [CTI からのデバイスの制御を許可 (Allow Control of Device from CTI)] オプションを選択する必要があります。

手順

-
- ステップ 1** In Cisco Unified CM Administration で、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] をクリックし、電話機を検索します。
- ステップ 2** [デバイス情報 (Device Information)] セクションで、[CTI からのデバイスの制御を許可 (Allow Control of Device from CTI)] にマークを付けます。
- ステップ 3** [保存 (Save)] をクリックします。
-

デスクフォンビデオの設定

デスクフォンのビデオ機能を使用すると、ユーザはクライアントを介してコンピュータ上のデスクフォンデバイスに転送されたビデオを受信できます。クライアントがデスクフォンデバイスへの接続を確立できるようにするためには、そのデバイスに対してコンピュータをコンピュータポート経由で物理的に接続する必要があります。デスクフォンデバイスへのワイヤレス接続によりデスクフォンのビデオ機能を使用することはできません。



- (注) ワイヤレス接続と有線接続の両方を使用できる場合、ユーザは有線接続がワイヤレス接続よりも優先されるように Microsoft Windows を設定する必要があります。詳細については、『*An explanation of the Automatic Metric feature for Internet Protocol routes*』という Microsoft マニュアルを参照してください。

デスクフォンのビデオ機能を使用するには、Cisco.com から Jabber デスクフォン ビデオ サービス インターフェイスをダウンロードし、インストールする必要があります。Jabber デスクフォン ビデオ サービス インターフェイスによって提供される Cisco Discover Protocol (CDP) ドライバによって、クライアントは以下を行えます。

- デスクフォン デバイスを検出します。
- CAST プロトコルを使用してデスクフォン デバイスへの接続を確立して維持します。

デスクフォンビデオでの考慮事項

ユーザにデスクフォンビデオ機能をプロビジョニングする前に、以下の考慮事項および制限事項を確認してください。

- Cisco Unified IP Phone 9971 などのデバイスにビデオカメラが接続されていると、デバイスでデスクフォンのビデオ機能を使用できません。デバイスからビデオカメラを取り外すと、デスクフォンのビデオ機能が使用できるようになります。
- CTI をサポートしていないデバイスでは、デスクフォンビデオ機能を使用することはできません。

- デスクフォンビデオでは、BFCPプロトコルを使用したビデオデスクトップ共有はサポートされていません。
- SCCPを使用するエンドポイントでビデオの受信のみを行うことはできません。SCCPエンドポイントでは、ビデオの送信と受信を行う必要があります。SCCPエンドポイントからビデオが送信されないインスタンスでは、コールが音声のみとなります。
- 7900 シリーズ電話機は、デスクフォンのビデオ機能に SCCP を使用する必要があります。7900 シリーズ電話機は、デスクフォンのビデオ機能に SIP を使用できません。
- ユーザがデスクフォンデバイスのキーパッドからコールを開始した場合、コールはデスクフォンデバイスの音声コールとして開始されます。クライアントは、次にコールをビデオにエスカレーションします。したがって、エスカレーションをサポートしない H.323 エンドポイントなどのデバイスにはビデオコールは発信できません。エスカレーションをサポートしないデバイスでデスクフォンのビデオ機能を使用するには、ユーザは、クライアントからコールを開始する必要があります。
- ファームウェアバージョン SCCP45.9-2-1S を使用する Cisco Unified IP Phone には、互換性の問題があります。デスクフォンのビデオ機能を使用するには、ファームウェアのバージョンを SCCP45.9-3-1 にアップグレードする必要があります。
- Symantec EndPoint Protection など、一部のアンチウイルスまたはファイアウォールアプリケーションによって受信 CDP パケットがブロックされ、デスクフォンのビデオ機能が無効になる場合があります。受信 CDP パケットを許可するようにアンチウイルスまたはファイアウォールアプリケーションを設定する必要があります。

この問題の詳細については、Symantec の技術文書『Cisco IP Phone version 7970 and Cisco Unified Video Advantage is Blocked by Network Threat Protection』を参照してください。
- Cisco Unified Communications Manager の SIP トランク設定で [メディアターミネーションポイントが必須 (Media Termination Point Required)] チェックボックスを選択しないでください。このチェックボックスを選択すると、デスクフォンのビデオ機能を使用できなくなります。

手順

-
- ステップ 1 コンピュータをデスクフォンデバイス上のコンピュータポートへ物理的に接続します。
 - ステップ 2 Cisco Unified Communications Manager でビデオのデスクフォンデバイスを有効化します。
 - ステップ 3 Jabber デスクフォンビデオサービスインターフェイスをコンピュータにインストールします。
-

デスクフォンビデオのトラブルシューティング

デスクフォンのビデオ機能を使用できない、またはデスクフォンデバイスが不明であることを示すエラーが発生した場合は、次の手順を実行します。

- 1 Cisco Unified Communications Manager でビデオのデスクフォン デバイスが有効になっていることを確認します。
- 2 デスクフォン自体をリセットします。
- 3 クライアントを終了します。
- 4 クライアントをインストール済みのコンピュータで services.msc を実行します。
- 5 Windows のタスクマネージャの [サービス (Service)] タブから、Jabber デスクフォン ビデオ サービス インターフェイスを再起動します。
- 6 クライアントを再起動します。

デスクトップアプリケーション用デバイスへの電話番号の追加

Cisco Unified Communications Manager で、デバイスに電話番号を追加する必要があります。このトピックでは、デバイスの作成後に [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] メニュー オプションを使用して電話番号を追加する手順について説明します。このメニュー オプションから表示されるのは、電話機モデルまたは CTI ルート ポイントに適用される設定のみです。電話番号を設定するためのさまざまなオプションについては、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。

手順

-
- ステップ 1 [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、[割り当て情報 (Association Information)] セクションに移動します。
 - ステップ 2 [新規 DN を追加 (Add a new DN)] を選択します。
 - ステップ 3 [電話番号 (Directory Number)] フィールドで、電話番号を指定します。
 - ステップ 4 その他に必要な設定があれば、それらをすべて指定します。
 - ステップ 5 次の手順に従って、エンド ユーザに電話番号を関連付けます。
 - a) [回線に関連付けられているユーザ (Users Associated with Line)] セクションに移動します。
 - b) [エンド ユーザの関連付け (Associate End Users)] を選択します。
 - c) [ユーザを次の条件で検索 (Find User where)] フィールドで適切なフィルタを指定した後、[検索 (Find)] を選択してユーザのリストを取得します。
 - d) 対象のユーザをリストから選択します。
 - e) [選択項目の追加 (Add Selected)] を選択します。

選択されたユーザがボイスメール プロファイルに追加されます。

- ステップ 6 [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 7 [設定の適用 (Apply Config)] を選択します。
- ステップ 8 [設定の適用 (Apply Configuration)] ウィンドウに表示されるプロンプトに従って設定を適用します。

ビデオ レート アダプテーションの有効化

クライアントはビデオレートアダプテーションを利用し、最適なビデオ品質をネゴシエートします。ビデオレートアダプテーションは、ネットワークの状態に合わせてビデオ品質を動的に向上または低下させます。

ビデオレートアダプテーションを使用するには、Cisco Unified Communications Manager で Real-Time Transport Control Protocol (RTCP) を有効にする必要があります。



- (注) ソフトフォンデバイスでは、デフォルトで RTCP が有効になっています。ただし、デスクフォンデバイスでは RTCP を有効にする必要があります。

共通の電話プロファイルに対する RTCP の有効化

共通の電話プロファイルで RTCP を有効にし、そのプロファイルを使用するすべてのデバイスでビデオレートアダプテーションを有効にできます。



- (注) RTCP は Jabber テレフォニー サービスの統合コンポーネントです。Jabber は無効にされても RTCP パケットを送信し続けます。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2 [デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] の順に選択します。
[共通の電話プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Common Phone Profiles)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 3 [共通の電話プロファイルを次の条件で検索 (Find Common Phone Profile where)] フィールドで対象のフィルタを指定し、[検索 (Find)] を選択してプロファイルの一覧を取得します。
- ステップ 4 対象のプロファイルを一覧から選択します。

[共通の電話プロファイルの設定 (Find and List Common Phone Profiles)] ウィンドウが開きます。

ステップ 5 [プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration Layout)] セクションを探します。

ステップ 6 [RTCP] ドロップダウン リストから [有効 (Enabled)] を選択します。

ステップ 7 [保存 (Save)] を選択します。

デバイス設定に対する RTCP の有効化

共通の電話プロファイルの代わりに、特定のデバイス設定で RTCP を有効化できます。共通の電話プロファイルで指定したすべての設定は、特定のデバイス設定で上書きされます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。

ステップ 2 [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] の順に選択します。
[電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが開きます。

ステップ 3 [電話を次の条件で検索 (Find Phone where)] フィールドに適切なフィルタを指定し、[検索 (Find)] を選択して電話の一覧を取得します。

ステップ 4 対象の電話を一覧から選択します。
[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが開きます。

ステップ 5 [プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration Layout)] セクションを探します。

ステップ 6 [RTCP] ドロップダウン リストから [有効 (Enabled)] を選択します。

ステップ 7 [保存 (Save)] を選択します。
